

令和3年度

# 家庭学習の追究

学習や自己の課題に積極的に取り組める生徒を目指して



甘楽町立甘楽中学校

		氏名
年	組	

# 目次

1	全教科共通	2
2	上手な勉強方法	2
3	国語	3
4	数学	5
5	社会	7
6	理科	8
7	英語	11
8	音楽	13
9	美術	14
10	保健体育	15
11	技術	16
12	家庭	17

# 全教科共通

	アドバイス
宿題	宿題は、各教科の先生が、「これは必要だ、皆にやってもらって力をつけて欲しい」と考えて出しているものです。家に帰ったら、まず最初に宿題をやりましょう。宿題にきちんと取り組むと、教科の力が身につきます。
予習	教科書を一通り読むだけでも、次にどんな勉強をするのか分かります。たとえ内容が分からなくても、次の授業の見通しを持つことが出来ます。また、予習しても分からないところに注意をして授業を受けると、大事なことを確実に学ぶことができます。
授業	授業では、「できないこと」を「できる」ようにします。予習をして疑問がわいたところに特に注意を集中し、授業のポイントだと思うところを授業ノートにメモしておきましょう。後になったら思い出せないので、その場ですぐにメモするのがコツです。
復習	復習は、授業で行ったことの定着を図るために行います。復習をしておくことで、次の授業の内容も理解しやすくなります。また、その日にやるだけでなく、少し時間を空けて勉強し、内容を覚えているか確認しましょう。
テスト	テストは、「自分の力を調べるためのもの」また「自分がどれくらい理解できているかを確認するためのもの」です。また、テストに向けて、目標や計画を立てて、実行してみて、その計画を見直すことも大切です。 テストが返ってきたら、見直して、次に生かしましょう。正解を赤で書き写すだけでなく、「間違えた理由」や「次に間違えないために気をつけること」をノートに書き出して、同じような問題を考えるときの参考にして下さい。

## 上手な勉強方法

①	手や口を動かして繰り返し書いたり読んだりするだけでなく、頭を働かせる。丸暗記よりも意味を考える方が覚えやすい。
②	分かりづらい内容は、図や表や絵などに整理してまとめると、スッキリする。
③	自分の言葉で大事なポイントをまとめる。そうすると丸暗記よりも記憶に残りやすい。
④	自分の言葉で友達に説明する。うまく説明できなければ、ちゃんと分かっていないということ。そこが復習のポイントだ。
⑤	うまくいったときや間違ってしまったときは、なぜうまくいったのか、なぜ間違えてしまったのか理由を考える。そうすると、次に生かせる「知恵」になる。
⑥	自分の目標や計画を立て、実行し、途中で見直す。
⑦	授業を振り返ったり、ワークを解いたりして分からないことがあった時は、教科書を開いてみる。教科書を使って、分からないことに関係することが載っているか探してみることが、よく理解するために役に立つ。

# 国語



	内容	アドバイス
予 習	①文学的文章や詩や短歌・俳句では、一度読んだ感想をメモする。	自分のペースで読めばよいので、ゆっくり読んで、素直な感想をもつようにしよう。そうすれば、感性が磨かれます。
	②説明的文章では、一度読んで語句の意味を調べる。	「言葉ノート」を一冊用意して、書き込むようにしよう。1つの意味だけではなくいくつかの意味と用法を丁寧に調べて書くと語彙の力が広がります。
	③古文・漢文では、声に出して読む。読みがわからない語句に線を引く。	声に出して読むことで、古文や漢文のリズムをつかむことができます。
授 業	①○授業に集中する。 (50分間が授業です。) ○目的意識を持って学習する。	今どんな学習をすればよいのかを意識しながら、授業に取り組もう。わからなければ、積極的に質問しよう。わからないのは、決して恥ずかしいことはありません。わからないことをそのままにしておくことが、恥ずかしいことなのです。
	②声に出して読むときは大きな声ではっきりと読む。	読みがわからないときは、周りの友達や先生に遠慮なく聞こう。友達に聞かれたら、丁寧に教えてあげよう。そうすれば、お互いの学力アップにつながります。
	③○よく考え、よく発表する。 ○友達、先生の話をよく聞く。	勇気を出して挙手することは大切です。間違えることを恐れずに積極的に発言しよう。発言するときは、できるだけ聞いている人に伝わるような言葉を遣おう。 友達の意見や先生の説明を深く聞くことで国語力が高まります。 ☆ノートは後で見直して分かるように工夫しながら丁寧に書こう。
復 習	①その日のノートを見直して、時間があれば、一度書き直してみる。	授業を思い返してみるのがコツ。先生が何を言ったか？友達がどんな発言をしたか？など……。 (楽しかったことも思い出すとより一層理解が深まるよ)
	②ワークの問題を解いてみる。	模範解答があれば、答え合わせをして、できたところとできなかった(間違えてしまった)ところをしっかりと分けておくことが非常に大切です！
テ ス ト	①定期テスト前は教科書・ノート・ワーク・単元テストで総復習をする。	テスト範囲の文章を必ず音読する。その時に、読めない漢字や分からない語句を復習しよう。 教科書やノートを見直しながら、ワークをもう一度解いてみよう。間違えてしまった問題は、印をつけておいて、直前にやり直すことで効果はアップします。 単元テストをもう一度解いてみてできるところとできないところを分けよう。そして、解説を読んで理解を深めよう。
	②定期テスト後は、テスト直しをする。	間違えた漢字を書きだして、自主学习ノートに練習しよう。 古文・漢文や文法では、「どこがわからないのか」をはっきりさせ、後で、自主学习ノートで質問しよう。きっと次は、向上します！

# 自主勉強ノートの取り組み方

1/28 (木) P137  
 一の谷で敗戦した平家は、四国の屋島に逃げる。

平家 海 この扇を射落とせ

源氏 陸 ゆけっ！ 那須与一！！

★那須与一 三下野国(栃木県)出身。二十歳前後の男の人。  
 (今) 扇の的の話の流れを理解しよう!!

・状況の悪化 天候の悪化 北風(折から北風が激しく吹いていた) 波(岸を打つ波も高かった)

義経 命 逆らう

願はくは三とあるが、  
 (1) 何をお願したのり? ↓この矢が外れないでほしい (扇の真ん中を射ること)  
 (2) 何にお願したのり? ↓我が故郷の神々の(栃木)・八幡大菩薩 (日光の権現・宇都宮大明神・那須の湯泉大明神 殺生石)

★八幡大菩薩 三源氏にと、この武運の神。  
 (3) 失敗してしまつたらどうするつもりか?  
 ↓弓を折り、腹をかま切つて自害するつもり。

当時の武士は自分の命より主君の(義経) 面目が大切!!  
 (4) 願った結果、状況の悪化はどうなったか?  
 ↓風が少し弱まり、的の扇も静まって射やすくなった。状況は良好に!!

※(注) Q 擬声語を二つ書こう。(古文中から)  
 ・ひやうど(ひょうと) ・ひいふつと  
 ④ 自当たると思わなかつたから  
 ・無理難題をや、このけたから  
 ・意味方という関係を忘れて、素直に与一の腕前に感動して居るから。

7/10 (火)

対句法 対になる語句を用いる技法  
 例) おじいさんは山へ行きました。おばあさんは川へ行きました。

倒置法 語順を入れかえる技法  
 例) もうよせ、そんな事は。足がはやいな、本田は。

☆詩四編  
 ① 書き写す  
 りんご 山村暮鳥  
 両手をとんねに大きく大きくひろげてみかかへきれないこの気持ち林檎が一つ日あたりどころがつてみる

② どんな情景・心情か  
 ・お世話になつた人へおくる感謝の気持ち。  
 ・春の温かい日差しをあびて林檎が日なたぼっこをしている情景。  
 ・温かい気持ち。 (メモ: ギャップ、リ、温かい)

③ 表現の特徴  
 ・大きく大きく ↓ 反復法  
 ・叙情詩・口語自由詩

④ 温かい気持ちになつた。私はこの詩が好きになつた。

1/3 (全) 情景で 表現の特徴は何か  
 りんご 作者のかかえきれない大きな気持ち (メモ: モヤモヤ、愛、あつた) に対して

◎ 口語詩・叙情詩・反復法

# 数学



	内容	アドバイス
予習	① 次の日の授業で行う範囲の教科書を読む。	教科書の本文と図表を読んで、どんな勉強をするのか見通しを持ちましょう。教科書で太い文字で書かれているものは大事な用語や公式です。図や表と結びつけて意味を確認しましょう。
	② 教科書を読み、分からない点や疑問点に印をする。	予習で重要なことは、「疑問点を見つけること」です。その疑問点を授業で解消しましょう。「？」マークをつけておくだけでもよいのですが、授業ノートに質問の形でメモしておく、効果アップです。
	③ 教科書の例題を解く。	自分で手を動かして解いてから授業に臨みましょう。「どこまで考えられたのか」「どこからが分からないのか」まで記しておく、効果アップです。
授業	① 途中の計算や考え方を理解する。	数学は答えが合っているだけでなく、途中でどのような考え方をしたのが大事です。解き方・考え方の大事なポイントをメモしましょう。間違えたときは、「なぜ間違えたのか」「間違えないためには」について書いておくと良いでしょう。
	② 予習で分からなかった点を中心に集中して聞く。	予習で教科書を読んだり例題を解いたりしたら、そこで解けなかったところ、自信がないところは特に集中して取り組みましょう。
	③ 授業でわからなかった内容はすぐに質問する。	授業でわからなかったところや自信のないところは、遠慮なく先生や友達に質問して、その日のうちに解決しましょう。
復習	① 今日の授業のノートを読み返す。	授業があったその日のうちに、ノートを読み返して授業内容を振り返りましょう。「ここはこの公式を使ってこう解くのだな」と、心の中でつぶやきながら説明してみると効果アップです。
	② 今日の授業で勉強した問題を解き直す。	今日の授業で勉強した【たしかめ】【問】などをやってみましょう。教科書や授業ノートを見ないで自主勉強ノートにやりましょう。解けない問題は教科書や授業ノートで確かめて、解けるまで繰り返すことで効果アップです。
	③ ワークで今日の授業の範囲をやる。	授業で習った内容について、学校で配布されているワークをやってみましょう。解いたら、必ず答え合わせをしましょう。間違えてしまった問題は、解説をよく読み、「なぜ間違えたのか」「間違えないためには」を書いておくと効果アップです。
テスト	① 定期テスト前は教科書・ノート・ワークで総復習をする。	今まで習った内容は、全て教科書やノートに書いてあります。教科書やノートを見直ししながら、ワークを活用して問題を解けるようになりましょう。間違えてしまった問題は、印をつけておいて、間違え直しノートにやり直すことで効果アップです。
	② 定期テスト後は、テスト直しをする。	間違えた問題をもう一度、間違え直しノートにやりましょう。「なぜ間違えたのか」「間違えないためにはどうするのか」をメモしておくことで、あなただけの参考書ができます。

A 基礎をかためよう

① 分数の形の1次式と数の乗法

$$\frac{-3x+2}{5} \times 10 = \frac{(-3x+2) \times 2}{1} = (-3x+2) \times 2 = -6x+4$$

約分するときは、分子の式にかっこをつけるよ。

② いろいろな計算

$$2(3x-2) - 3(-x+1) = 6x-4+3x-3 = 9x-7$$

分配法則を使ってかっこをはすし、文字の部分の同じ項を集めるよ。

① 分数の形の1次式と数の乗法

$$(1) \frac{x+3}{2} \times 12 = \frac{x+3}{2} \times \frac{6}{1} = (x+3) \times 6 = 6x+18$$

★解説を必ず読んで、次のはなく、次の時に間違えないためのポイント※を覚えよう!

$$(2) \frac{5y+8}{3} \times 6 = \frac{5y+8}{3} \times \frac{2}{1} = (5y+8) \times 2 = 10y+16$$

★-のつけ忘れに注意

$$(3) 42 \times \frac{5b-3}{6} = 7 \times \frac{5b-3}{1} = 7 \times (5b-3) = 35b-21$$

★-かある時は、まず-をかき!

$$(4) \frac{7a-4}{3} \times (-9) = \frac{7a-4}{3} \times (-3) \times 3 = (7a-4) \times (-3) = -21a+12$$

★-2a-x(-9) = (7a-4) \times (-3) = -21a+12

② いろいろな計算

$$(1) 2(x+5) + 4(2x-1) = 2x+10+8x-4 = 10x+6$$

$$(2) -4(y-1) + 2(2y+3) = -4y+4+4y+6 = 10$$

$$(3) 9(3a+8) - (7a-5) = 27a+72-7a+5 = 20a+77$$

$$(4) -3(4b-3) - 6(3b+7) = -12b+9-18b-42 = -30b-33$$

★まず符号を決めてから計算する

B 力をつけよう

① 分数の形の1次式と数の乗法

$$(1) \frac{4x+1}{3} \times 15 = \frac{4x+1}{3} \times \frac{5}{1} \times 3 = (4x+1) \times 5 = 20x+5$$

★何をどこにかけておこうか確認する (-9x+7) \times (-8) 分全体にX

$$(2) \frac{-8}{2} \times \frac{x-7}{2} = (-4) \times \frac{x-7}{2} = -4 \times (x-7) = -4x+28$$

$$(3) \frac{-9x+7}{6} \times (-48) = \frac{-9x+7}{6} \times (-8) \times 6 = (-9x+7) \times (-8) = 72x-56$$

$$(4) 8x-7-3(3x+1) = 8x-7-9x-3 = -x-10$$

$$(5) 3(x+2)-2(4x-1) = 3x+6-8x+2 = -5x+8$$

$$(6) -4(3x-5)-5(2x+4) = -12x+20-10x-20 = -22x$$

★同じ文字の項を数だけけたら集める Eに付けておくと、分がしやすい!

C 力をのばそう

③ 次の計算はまちがっている。どこがまちがっているか説明し、正しく計算しなさい。

$$12 \times \frac{x-9}{4} = 3 \times (x-9) = 3x-9$$

(説明)  $3 \times (x-9) = 3x-27$   $12 \times \frac{x-9}{4} = 3 \times (x-9) = 3x-27$

$$(1) \frac{7a-4}{3} \times (-9) = \frac{7a-4}{3} \times (-3) \times 3 = (7a-4) \times (-3) = -21a+12$$

① 約分をした時、-を忘れずにかけた。

$$(2) -3(4b-3) - 6(3b+7) = -12b+9-18b-42 = -30b-33$$

① まず符号から計算する

$$(3) \frac{-9x+7}{6} \times (-48) = \frac{-9x+7}{6} \times (-8) \times 6 = (-9x+7) \times (-8) = 72x-56$$

① どこに何をかけるか意識して( )をつけておこう

$$(5) 3(x+2) - 2(4x-1) = 3x+6-8x+2 = -5x+8$$

★まず符号を決めてから計算する

$$(3) 12 \times \frac{x-9}{4} = 3 \times (x-9) = 3x-9$$

(説明)  $3 \times (x-9)$  で、 $3 \times x$  はかけておいたが、 $-9$  にかけていないため、分配法則ができていない。

$$(正しい計算) 12 \times \frac{x-9}{4} = 3 \times (x-9) = 3x-27$$

① 数用語語を使て、誰にでも分かるように説明することを覚える。

① 用語を調べよ! 教科書の「さくいん」 → 分配法則 教科書 P.41

用語 分配法則  
意味  $(a+b) \times c = a \times c + b \times c$   
 $c \times (a+b) = c \times a + c \times b$

( ) 中の項、全てにかける。  
①  $a+b$   $c$   $c(a+b) = c \times a + c \times b$   
②  $2 \times (x+3) = 2 \times x + 2 \times 3 = 2x+6$

$$③ -3(4a-5) = -3 \times 4a - 3 \times (-5) = -12a+15$$

自主勉強ノートの使い方

- ① 授業で扱った問題やワークで間違えてしまった問題を、間違えないためのポイントを意識して、テストしてみよう。
- ② 用語が分からなかったら、教科書を使って調べて「意味」と「具体例」を書いて覚えよう。

# 社会



	内容	アドバイス
予習	基本的に必要なし。その分復習に力を入れましょう。	余裕がある人は重要語句（教科書で太字の用語）を事前に調べて授業に臨むと、より理解が深まると思います。
授業	①先生の説明をよく聞く。板書以外にも、必要な部分はメモをとっておく。	<u>ノートを取ることに夢中になるのではなく、説明を集中して聞き、理解することが大切です。</u> 特に「因果関係」（例：なぜ〇〇がさかんなのか、なぜ〇〇が起こったのか等）が重要です。聞き漏らさず、板書がなくてもメモをとるようにしましょう。
	②わからないところには、教科書やノートにチェックをし、あとで調べられるようにする。	授業の中で、扱える範囲は限られています。自分で疑問に思ったことやもっと知りたいと思ったことは、チェックしておき、本やインターネット等で調べて理解を深めましょう。
	③教科書の資料と本文を結びつけて理解する。	教科書には、グラフ、写真、絵など様々な資料があります。それは本文の何の何を表しているのか、結びつけて考えましょう。（わからなければ先生に聞きましょう）
復習	①教科書を音読してノートを見返し、ワークを解く。	授業があった日は、教科書を音読して読み返しましょう。これをするだけでも理解が深まります。ノートも見返し、ワークの問題をこまめに解いておきましょう。
	②理解が浅いところは、自主勉ノートにまとめてみる。	苦手な分野や理解が浅いところのみ、自主勉ノートにまとめてみることをおすすめします。
	③身近なものを使い、楽しみながら学ぶ。	社会に苦手意識をもっている人に特におすすめです。図書室にある歴史のマンガ（日本の歴史シリーズなど）、海外や日本各地取材している番組、池上彰さんの番組、インターネットの動画なども授業内容を理解する助けになります。なんとなく見るだけでなく、授業で出てきたものを見つけるつもりで見ると理解を深めましょう。
テスト	①定期テスト前は教科書・ノート・ワークで総復習をする。	教科書（眺めるのではなく音読する）やノートを見直した後、ワークを解いて力試しをしましょう。ワークは1回でなく、別のノートを用意してくり返し解くことが重要です。苦手な問題だけでもいいので、テスト前に2、3回はやりましょう。
	②定期テスト後は、テスト直しをする。	間違えた問題＝自分の理解が不十分だと教えてくれるものです。教科書やノートを見直して、正しい知識を身に付けましょう。また、間違えた問題に関わる内容をノートにまとめてみましょう。

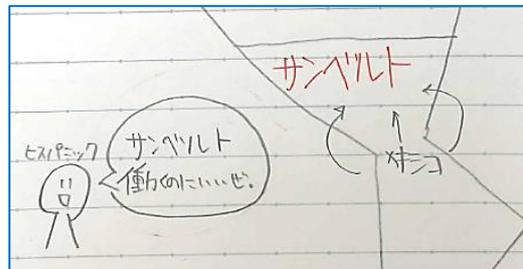
# 自主勉強ノートの取り組み方

①ワークの問題を繰り返し解く。

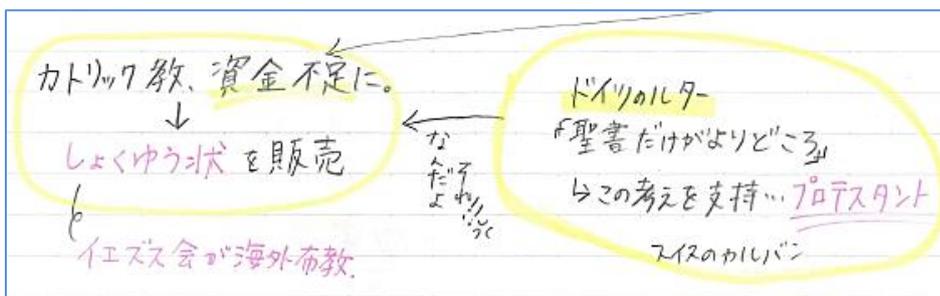
②理解が浅い単元などは、授業でとったノート・教科書を元に、内容をまとめてみましょう。

長い文章より、吹き出し・イラスト・矢印などを使って見やすく簡潔にまとめるのがオススメです。

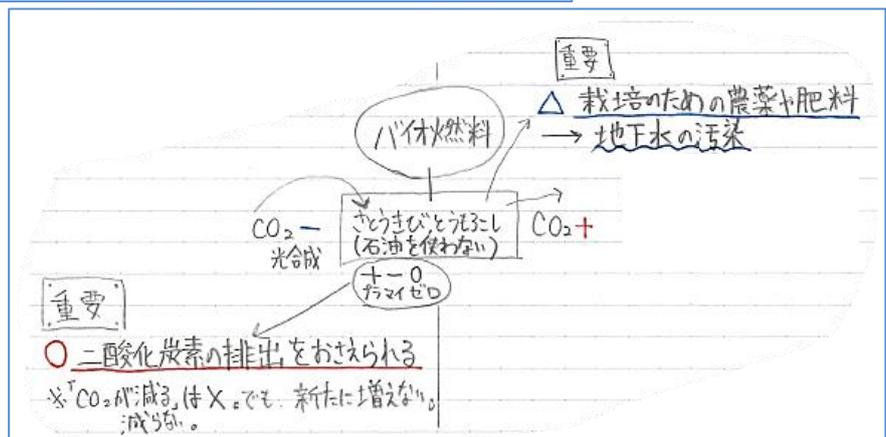
吹き出しは、ポイントを  
書くのに便利。→



←地理は、略地図を描いて情報を  
書きこむと位置関係も理解でき  
るので○。



←対立関係や  
因果関係は、  
左右に分けて書き  
矢印を使って表す  
と○。 ↓



<背景>

チンギス・ハンがモンゴル帝国  
を建国。領土拡大。  
↓  
フビライ・ハンの頃、国号を  
元と定める。大帝国へ。

<原因> 朝鮮半島

① 高麗を征服後、更に東に  
元が領土を広げるため。  
② 執権 北条時宗がフビライ  
からの国書を無視し続けたため。

**元寇(蒙古襲来)**  
文永の役(1274), 弘安の役(1281)

<結果>

・2回とも元を撃退!!  
防塁を築く → 上陸を阻止  
幕府軍の抵抗  
暴風雨 "神風"

<影響>

恩賞をもらえない御家人の  
不満が高まる  
↑  
徳政令を出さず  
(借金帳流し) 効果少

←歴史では、戦争や大きな  
出来事をまとめる時に、  
それが起こった

【背景】 それまでの時代背景

【原因】 直接の原因・理由

【結果】 出来事の結末

【影響】 その後の変化

について簡単にまとめる  
と理解が深まります。

※難しい場合は、【原因】

【結果】のみ簡単にまと  
めてみましょう。

# 理科



	内容	アドバイス
予習	① 次の授業でやる内容の教科書を読み、見通しを持つ。	教科書を読んで、次の授業でどのような観察・実験をするのか見通しを立てる。教科書に出てきた重要語句(太字で書かれている用語)などをチェックしておく。 また、観察・実験の方法をよく読み、どのような実験をするか確認しておく。
	② 観察・実験の方法や準備を確認する。	
授業	① 予習で行った授業の見通しの確認	理科は授業がとても大切です。まずは、先生の言っていることをしっかり聞き、課題に取り組みましょう。 理科の授業の中の観察・実験は基本的に、「予想」→「方法・準備の確認」→実験→結果→考察→まとめの手順で進みます。項目ごとに、自分の考えやクラスメイトとの意見交換、重要なことや気づいたこと・わかったことを理科ノートに残しておくことを意識するとよい。教科書などで確認しておく。
	② 自分の考えやクラスメイトの考えや意見を大切にします。	
	③ 理科ノート(授業用ノート)を充実させる。	
復習	① 授業のふり返りをします。	理想的なのは、授業があったその日のうちに復習をすることです。復習内容は、授業で行った教科書の内容をよく読み、次に授業用ノート(板書)の見直しをして授業で行った内容をふり返りましょう。 次に、授業内容に対応する部分のワークで演習をしましょう。解答はワークの別冊のノートに行いましょう。
	② 授業で習った内容を演習する。	
テスト	① ワーク本体をきちんと解く。	定期テストの対策は、ワークを本体に行い、できなかった問題、わからなかった問題は印をつけ、必ずやり直しをしましょう。また、時間を測ってワークを解くだけでもテスト対策になります。ただし、丸付けや解説を読んでいるときは時間をかけ理解を深めましょう。 また、授業用ノートや教科書の見直しもしましょう。
	② 教科書、授業用ノートの見直し。	

## ワークの取り組み方

- 授業後に行う。
  - ・授業のまとめ時に、授業内容に関するワークを別冊のノートに行い、丸付けを行う。  
できなかつた問題・わからなかつた問題に関しては、ワーク本体の問題にチェックを入れ、解説をよく読み、やり直しをする。
  
- 定期テスト前に行う。
  - ・テスト範囲のワークをワーク本体に行う。解くときに、時間を意識して解く。  
(見開き1ページを10分程度で解く。)
  - ・できなかつた問題は問題にチェックを入れ、解説をよく読み解き直しを必ず行う。

## 自主勉強ノートの取り組み方

- ・授業のポイントや理科ノートを見ながら自主勉強ノートにまとめる。
- ・ワークや理科ノートにある問題を繰り返し解き、解答を自主勉強ノートに記入する。
- ・重要図やグラフなどを自主勉強ノートにまとめる。
- ・ワークでできなかつた問題(印がついている問題)を自主勉強ノートに解き直す。
- ・テスト対策の問題演習は、とにかく時間を意識して解く。

# 英語



	内容	アドバイス
予習	① 次の授業で行う範囲の教科書を読む。	教科書の本文や新出単語、新しい文法をチェックする。本文は実際に読んでみて、どのくらい理解できるか知ることが大切です。
	② ノートに本文や新出単語を書き、日本語に訳す。	予習で大切なことは、「疑問点を見つけること」です。その疑問点を授業で解消しましょう。本文は分かるところは訳し、訳せるところと訳せないところをチェックして授業に臨むことが大切です。
	③ できればどんどん先まで予習する。	教科書の単元ごとに先に先に文法や本文をチェックしていくことも大切です。今後学ぶことを知ることで、今学んでいる内容がはっきりすることもあります。
授業	① 新しい単語の意味や文法の仕組みを理解する。	英語を正しい場面で自由自在に使えるようにするには、意味や文法の仕組みを理解する必要があります。先生の解説をよく聞き、ノートにまとめましょう。ノートをしっかり書くとテストに活きます。習った内容に沿って自分で例文を作ってみるとさらに良いです。
	② 新しい単語・表現を積極的に発音したり、先生の真似をして使ったりする。	英語は言葉の勉強なので、声に出したり、書いたりして相手に伝える必要があります。習った文法を使ったり、授業で先生が使う英語を真似しながらたくさん話したり、書いたりする練習をしましょう。間違いを恐れず積極的に参加する姿勢が大切です。
	③ 授業でわからなかった内容はすぐに質問する。	わからないことは先生や友達に遠慮なく聞きましょう。活動していて「これって英語でなんて言うのかな」と思ったものを調べたり、人に聞いたりしておくことで知識の幅が広がります。
復習	① 今日の授業の内容をその日のうちに読み返す。	授業で理解できたことも時間がたてばたつほど忘れていきます。その日のうちに教科書やノートを読み返すことが大切です。特に本文は5回以上音読しましょう。
	② 文法など疑問点が出てきたら、その日のうちに解消する。	振り返りながらわからないところが出てきたら、その日のうちに解消する。自分で解消できなければ翌日先生に聞く。英単語は毎回新しい語が出てくるので、1語につき10回以上練習して書けるようにしておくことが大切です。
	③ ワークで今日の授業の範囲をやる。	授業で習った内容について、学校で配布されているワークをやってみましょう。解いたら、必ず答え合わせをしましょう。間違えてしまったところは解説をよく読みその場で解消しましょう。
テスト	① 単元・定期テスト前は教科書、ノート、ワークで総復習する。	習った内容は全て教科書やノートに書いてあります。教科書やノートを見直した後、ワークを解いて力試しをしましょう。ワークは1回でなく、別のノートを用意してくり返し解くことが重要です。苦手な問題だけでもいいので、テスト前に2, 3回はやりましょう。
	② テスト直しをする	テスト直し用のノートを作ることをお勧めします。その際、間違えた単語などをただひたすら書いても効果は薄いです。「なぜその間違いをしたのか」をしっかり分析することが大切です。

# 自主勉強ノートの取り組み方

## Step 1

日付を英語で書くと自然に練習になるね！

January twentyfourth

内気 → quiet  
制服 → uniform

野生の → wild  
静か → quiet  
木の → wood  
結婚 → merry / married  
優勝者 → champion  
科学者 → scientist  
毎日 → daily  
100万 → million  
入る → enter  
集まる → gather  
育てる → grow  
重大な → serious  
挑戦 → challenge

要約すると → short  
におい → smell  
書く → name / note  
大成功 → success  
不公平 → unfair  
おだ → waste  
席 → seat  
風 → wing / wind  
努力 → effort  
助言 → advice  
特に → particular  
～による → depend

中国語  
Chinese  
電気 → electricity  
運転手 → driver  
落ちる → fall  
大さらい → roof  
出席 → attend  
加えて → and / addition  
法律 → law

January twentyfourth

野生 → wild  
静か → quiet  
木の → wood  
結婚 → married  
優勝者 → champion  
科学者 → scientist  
毎日 → daily  
入る → enter  
集まる → gather  
育てる → raise

要約すると → in short  
におい → smell  
書く → note  
大成功 → success  
不公平 → unfair  
おだ → waste  
席 → seat  
風 → wind  
努力 → effort  
助言 → advice  
特に → particular

中国語  
Chinese  
電気 → electricity  
運転手 → driver  
落ちる → fall  
大さらい → roof  
出席 → attend  
加えて → and / addition  
法律 → law

間違いや書けなかった単語は、色ペンで直して目立たせる！

## Step 2

【単語練習】単語 意味 練習 が見やすい！

along 沿って along along along along along along  
early 早い early early early early early early  
understood 理解 understood understood understood understood understood  
travel 旅行 travel travel travel travel travel travel  
grew growの過去形 grew grew grew grew grew grew grew  
statue 像 statue statue statue statue statue statue  
get well (病気が) 回復する get well get well get well get well get well

【表現のまとめ】学習した表現を自分で整理！

Lesson 4 Part ①  
○ We call the dog Pachi. (私たちはその犬をパチと呼びます)  
A B (名詞) 「AをBと呼ぶ」  
○ The book makes me happy. (この本は私を幸せにします)  
A B (形容詞) 「AをBにする」

【練習】学習した表現で英文づくり！

① 私は彼女をユリと呼びます。  
I call her Yuri.

② その話は私たちに悲しくしました。  
The story made us sad. (過去に注意！)

③ その手  
The

④ そのゲームは私をわくわくさせませんでした。  
That game did not make me excited. (What + 形容詞の疑問文?)

⑤ あなたはあなたの犬を何と呼びますか。— 私はそれをボブと呼びます。  
What do you call your dog? — I call it Bob.

⑥ 何があなたを幸せにしますか? — 歌うことが私を幸せにします。  
What makes you happy? — Singing makes me happy. (What + makes + 人 + 形容詞?)

Lesson 4 Part ②  
It is important for me to read books every day.  
It = to read (私が本を毎日読むことは大切なことです)  
① 彼にとってコンピュータを使うのは簡単です。  
It is easy for him to use a computer.  
② 私にとってそのゲームをやるのはわくわくしました。  
It was exciting for me to play the game.  
③ 彼女にとって早く起きるのは簡単ではありません。  
It isn't easy for her to get up early. (否定文はbe動詞のあとにnotを入れる)  
④ このゲームをやるのは難しいですか? — はい、難しいです。  
Is it difficult to play this game? — Yes, it is. (疑問文はbe動詞と形容詞のあとに入れる)

# 音楽

	内容	アドバイス
予習	鑑賞では曲の内容や作曲者の情報を調べてみる。	作曲者の情報がわかっていると、曲を聴いたときに理解する速度が違うと思います。
授業	まずは、元気に参加しましょう。	みんなと一緒に活動することが一番楽しいです。
	先生の話聞いて、自分の目標を持ちましょう。	ボーっと参加せずに、自分の目標を持って取り組むと理解することが増えます
復習	次の時間にやるべきことは何か？と考えておきましょう。	次の授業に向かう意欲が高まります
テスト	音楽の必要な知識を問います。 歌や、指揮、など実技のテストも行います。	音楽では絶対必要な記号があります。それを3年間かけてしっかりと覚えて行けるようにしましょう。 自分の力を発揮できるようにしましょう。
	曲に対する自分なりの意見を記述します。	知識だけではなく、作品に対する自分の考えや思いを持つことが、音楽をもっと好きになることにつながります。

# 美術

	内容	アドバイス
予習	①教科書、資料集を読み、作品例を調べてみる。	教科書や資料集を読んで、どんな作品を作っていくのか見通しを持ちましょう。また、自分の作ってみたい作品例を調べることでイメージを膨らますのもいいですね。
	②アイデアに関する資料を集める。	描いたことのないものを何も見ずに描くことはとても大変なことです。イメージを作品に反映するためにも資料集めは欠かせません。ぜひアイデアに生かせる資料集めをしましょう。
	③四季を感じたり、色々なことを経験したりする。	色々な経験を積むことで今までにないアイデアを生み出したり、作品より深く鑑賞したりすることができます。また、季節のものを感じることでより感性を働かせることができます。
授業	①（知識）新しく出てきた技や用語をしっかりとっておさえる。	まずはしっかり話を聞き、説明通りに作業を進めてみましょう。思い込まず、まずはやってみよう。また、言葉もしっかり覚えよう。
	②（技能）やり方や描き方がわからない時はすぐに質問する。	上達のコツは繰り返し練習することとわからないことをそのままにしないことです。失敗して上手になっていくので練習してわからないことはどんどん質問してください。
	③（鑑賞）作品に対する自分の見方や感じ方を説明できる鑑賞にする。	作品を見て感じたことや自分なりの見方を根拠をもとに説明できる鑑賞をしましょう。“なぜそう思ったのか？”“どうしてそう感じたのか？”と理由を常に相手に話をしているように鑑賞していきましょう。
復習	①（発想）家でもアイデアを考えてみる。また、質問したいことを考えておく。	日常にヒントが隠れていることもあります。家でも考えてみることでいつもとは違うアイデアが出てくるかもしれません。また、アイデアが完成すると6割は完成したようなものです。
	②（知識）用語をしっかりとおさらいして覚える。	用語を覚えないのは人の名前を覚えないのと同じ。授業中に何を指示しているのかわからなくなることもあるのでしっかりと覚えよう。
	③（鑑賞）授業で鑑賞した作品の関連作品を調べてみたり、美術館に行つて作品を実際に見たりする。	関連作品を見ることで作品や作者についての知識を定着させましょう。また、美術館に行つて本物の作品に触れることで感性を磨くこともお勧めします。美術鑑賞レポートなど書くこともおすすめです。
テスト	①教科書、資料集、プリントを復習しよう。また、技能テストの練習をする。	大切なことは授業中に話したことです。授業中に話したことをプリントにメモしたり教科書、資料集にマークをしたりしてもいいですね。テスト前にもう一度復習しましょう。
	②テストの復習をする。	1～3年まで習ったことの積み重ねで作品を制作しています。教科書の内容の繰り返しですから、テストも同じ内容ができることもあります。必ず復習しておきましょう。

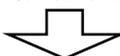
# 保健体育

	内容	アドバイス
予習	○新しい単元に入る前に、その競技について調べる	○興味を持って授業に移れるように、その競技について、動画を見たり、ルールを調べたりしてみよう。
授業	○前時の内容を思い出し、新しく技術やルールを覚える	○授業中に言われたポイントを意識して活動に取り組んでみましょう。そして、すぐにうまくできなくてもいいので、授業の中でたくさんいろいろな方法を試して練習してみよう。
	○自分の動きを客観的に見てみる	○ポイントを意識できているかは、なかなか自分では気づきにくいです。タブレットなどで動画を取り、自分の動きを振り返ってみよう。
	○友達の様子を観察し、真似てみる	○上手な友達の様子を見て真似してみることも大切です。お互いに動きを見合って、アドバイスをし合ってみましょう。
復習	○学習カードで本時について振り返る	○本時のめあてを確認し、そのめあてを達成できたか、授業の中でつかったポイントを忘れずに記入しておき、次回に活かしてみよう。
	○疑問やうまくできなかった部分について次回に活かせるようにする	○次回うまくできなかった部分を意識しながら、活動できるように、自分の課題を確認しておこう。またその動きを習得するために何が必要になるのか考えて次回の授業に臨もう。
テスト	○ルールや特性について確認する	○テスト前に配布される、授業対策プリントを活用し、ルールの確認やラインの名前など確認してテストに臨みましょう。細かいルールについては、体育実技を活用してみよう。
	○スキルテストに向け、細かいポイントを確認する	○期末テストだけではなく、技術面を確認するスキルテストも行います。授業中で学んだポイントを復習して忘れないようにしておきましょう。

# 技術

	内容	アドバイス
予習	① 授業の「まとめ」～「ふりかえり」で次時のことを話すので、調べる。	○先生からの「問い」について考えたり調べたりしてみよう。
授業	① 予習の結果について、確認する。	○授業の学びを通して、その真偽や結果について確かめよう。また、友達の見解や考えを聞くことで、自分の考えや意見の変化や深まりについて気づき、学習カードに書こう。
復習	① 技術ノートを自分なりにまとめる。	○技術ノートで、本時の内容を確認し、ノートや頭の中に整理するとともに、疑問がある場合はメモしておこう。
テスト	① 技術ノートでこれまでの学習を振り返ろう	

# 家庭科

	内容	アドバイス
授 業	①家庭での調べ学習の課題が出たら取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活での疑問や課題を見つけよう。</li> <li>例「食品にあるマークや表示の意味は何だろう。」</li> <li>「お気に入りの服の正しい手入れ方法を知らないな。」</li> <li>「隣の部屋の音が気になる。何か対策できないかな。」</li> </ul>
	②自分や友達が考えた工夫はとにかく共有する	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生がペアやグループで考えを交流する時間を設けたら、考えを共有しよう。自分が考えた工夫は友達にとってもプラスとなり、友達が考えた工夫が自分にとってもプラスになるかもしれません。</li> </ul>
	③失敗を恐れずに取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>失敗から学ぶことや気付くことは大切な経験となります。自分なりに考えて取り組んでみて、つまづいてしまったら、友達や先生と考えを交流してみよう。</li> </ul>
復 習	③自分の生活を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活を振り返り、課題を見つけ、改善方法を考えよう。</li> </ul>
	①授業で学んだ視点をもって家庭を観察する	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活での課題を見つけ、改善方法に取り組んでみよう。</li> <li>例「食品包装にある表示を見て、ごみを分別しよう。」</li> <li>「この服を手入れには、中性洗剤を使おう。」</li> <li>「ベッドの位置を壁際から窓側へ動かそう。」</li> </ul>
テ ス ト	②家庭を観察して、新たな疑問や課題を見つけたら、次回の授業などに繋げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭で見つけた新たな疑問や課題は大切にしよう。</li> <li>例「ごみの分別が大変だから、ごみの量を減らしたいな。」</li> <li>「あれ、この服は乾燥機にかけていいのかな。」</li> <li>「ベッドを窓側にしたら、カーテンの汚れが気になるな。」</li> </ul>
	①学んだ用語や自分で考えた生活をよりよくするための工夫をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で学んだ用語については、言葉の意味を自分で説明できるようにしておこう。</li> <li>生活をよりよくする工夫はポイントを確認するだけでなく、自分が振り返りで考えたことも具体的にまとめよう。</li> </ul> <p><b>具体的ではないまとめ方</b></p> <p>「買い物や調理時に出るごみを減らすようにする。」</p>  <p><b>具体的なまとめ方</b></p> <p>「包装の少ない食品を買ったり、調理時は野菜の皮まで食べるようにしたりして、ごみを減らすようにする。」</p>
	②学んだ技能を自分の言葉で説明できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で学んだ技能については、技術としてできるようにしておくだけでなく、友達に教えるイメージで自分の言葉で説明できるようにしておこう。</li> </ul>